

みずなみ陶器まつり 4年ぶりに開催！

連休最終日、お値打ち陶器と各種イベントで大盛況

11月5日(日)に、第9回みずなみ陶器まつりが瑞浪市産業振興センター(ちやわん屋みずなみ)で開催された。コロナ禍明けで4年ぶりとなった今回は、天気にも恵まれ、11月とは思えない汗ばむほどの陽気。市内外から多くの家族連れが訪れ、臨時で用意した駐車場



▲秋空の下、多くの来場者で賑わう会場

もいっぱいになるほどの盛況ぶりだった。特に今年は、小さな子ども達を連れた若いファミリー層が多く見られ、絵付け体験や光るどうろなど作り、綿菓子作り体験などのイベント



▲会場を明るく盛り上げました！



▲絵付け体験。お手本を見ながら慎重に。

年に一度は必ず健康チェック

生活習慣病(成人病)検診受付中

瑞浪商工会議所では、会員事業所を対象に成人病検診を行います。

- 日時 2月7日(水)・8日(木) 8時30分～11時
- 募集人員 各日50名
- 検診場所 東濃厚生病院 健康管理センター

が一切入っていないため、翌日には固くなりますが、電子レンジで温めたり、オーブントースターなどで焼くと、また美味しくいただけるそうです。

白慢のいっぴん 紹介コーナー Vol.39

田舎のお母さんの味 「よもぎ大福」

きなあつた瑞浪

瑞浪市土岐町にあるきなあつた瑞浪の「よもぎ大福」は瑞浪市農業婦人クラブの皆さんが毎日手づくりで作っています。



▲よもぎ大福 5個入り(780円)と2個入り(320円)があります。

よもぎの若草色と爽やかな香り、弾力のある餅に包まれた優しい甘さの粒あんは昔ながらの素朴な味わい

よもぎにはこだわりがあり、毎年よもぎが芽吹く4月頃に瑞浪市農林課の支援のもと、同クラブの皆さんが市内で一年分を収穫し、冷凍したものを使用しています。手間はかかりますが、つきたての餅に練り込むと自然の色と香りがとても良いそうです。餡は北海道産の小豆をふくらし、丁寧に炊き上げており、ほんのりとした塩気と甘さのバランスが絶妙です。も美味しいよもぎ大福です。なお、この大福は添加物



▲十和田湖のほとりで記念撮影

奥津軽の文化と歴史を視察 青森

当商工会議所の60周年記念事業として、議員・役員の見学旅行を10月17日・18日に実施

し、青森県五所川原市にある文化施設などを訪問した。小説家大宰治の生家

で、国の重要文化財にも指定されている「大宰治記念館」(斜陽館)「五所川原市所有」を



▲高さ20メートルにも及ぶ巨大な「立倭武多」(たちねぶた)は圧巻

り「で運行される巨大な人形灯籠の山車、「立倭武多」の展示を見学した。

多は今では全国的にも有名な祭りのひとつとして数えられるようになり、その圧倒的な迫力で観客を魅了し、先人たちの熱い情熱を思い起こさせてくれるものであった。また、行程の変更で偶然立ち寄った「酸ヶ湯温泉」がとても良かったと参加者から好評だった。

また、「立倭武多の館」では、青森の三大祭りのひとつである「五所川原市立倭武多まつり」の歴史と文化、

た。グルメコーナーに出店した地元飲食店や、イベントの手伝いをした。

た。瑞浪高校の学生ボランティアなど、多くの人の協力のもと、笑顔あふれる一日となった。

JCI コーナー 未来をつくる

(社)瑞浪青年会議所 第59代理事長 奥村一仁

本年度は「未来をつくる」をスローガンとした所信に基づき、ひとつづき、まちづくり、持続可能な組織づくり、仲間づくりを取り組んできました。ひとつづきでは、理想のリーダー像に近づくためにいくつかの研修を実施し、ビジョンを明確にしました。まちづくりでは、若い世代

た。瑞浪市の未来について考える機会を提供し、いただいたご意見をとりまとめ、瑞浪市へ提出しました。持続可能な組織づくりでは、全てのメンバーが参加できる組織環境を構築し、誰もが活躍できる組織を実現しました。仲間づくりでは、11月末時点で8名の新入会員と3

残り一ヶ月ありますが、関わってくださった全ての皆様のおかげで所信を実現することができたと考えております。ありがとうございました。